

【ボランティア事業】「二本松訓練所視察プログラム」実施のご案内

2019年4月25日

開催概要

今般、通常は公開されていない派遣前訓練の様子を見学・体験できる1泊2日のツアー「二本松訓練所視察プログラム」をご案内させていただきます。このプログラムでは、訓練所の施設見学や訓練内容の紹介、毎回好評をいただいている協力隊員候補者とのランチ懇談会や、実際の語学授業の見学、また諸制度の説明等を予定しております。

昨今、企業の若手社員や管理職の育成のために青年海外協力隊等 JICA 海外協力隊への参加を検討している企業様からの問い合わせが増えています。事業の新興国への展開、開発途上国を対象とした BOP ビジネスへの関心の高まりなど、企業活動がグローバル化する中、それに対応できる視野や素養を備えた人材の育成も喫緊の課題となっています。実際に、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」を利用される企業様には、人材育成の観点から、上記 JICA 海外協力隊（民間連携）の派遣を活用される方もおられ、当プログラムが皆様へ新たな選択肢をご提供できるものと考えております。

詳しくは以下ご案内をご覧ください、ご不明な点等ございましたらお気軽にお問い合わせ先までご連絡ください。

・ [二本松訓練所視察プログラムのご案内](#)

開催日時

2019年6月21日（金）10：00～2019年6月22日（土）14：00

（申し込み締め切り：2019年6月6日（木）12：30）定員30名程

（注）定員になり次第、参加申込は締切らせて頂きますため、お早めのお申し込みをお願い致します。

（注）JR 郡山駅（福島県）での現地集合・現地解散となります。

（注）郡山までの交通費及び現地での食事・宿泊代は自己負担となります。

プログラム概要（予定）

6月21日（金）	
10:00	JR 郡山駅（西口駅前ロータリー）集合
11:10	二本松訓練所長挨拶

11:30	訓練所施設案内
12:10	訓練生とのランチ昼食会
13:00	課業「貿易ゲーム」参観
14:00	国際協力の意義と JICA 海外協力隊
14:30	JICA による民間連携事業の現況
15:30	JICA 海外協力隊（民間連携）の制度
16:30	ホテルへ移動、チェックイン
18:00	訓練所スタッフ・隊員経験者との懇談会
20:00	協力隊員候補者による地域活性化への貢献
6月22日（土）	
8:00	朝の集い見学（JICA 二本松）
8:45	語学学習見学
9:45	JICA による安全配慮・現地での対応
10:30	振り返り、所長挨拶
11:50	訓練生とのランチ昼食会

※プログラム内容は変更になる可能性があります。

場所

JICA 二本松青年海外協力隊訓練所(JICA 二本松)
〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂 4-2
・ JICA 二本松 HP (<https://www.jica.go.jp/nihonmatsu/>)

申し込み

- [申込書 PDF](#) をご確認の上、
以下のお問い合わせ先に、ご送付ください。

お問い合わせ

独立行政法人 国際協力機構（JICA）青年海外協力隊事務局 参加促進課

高木（TAKAGI-Hiroki@jica.go.jp）

洲崎（Susaki.Takehiro@jica.go.jp）

TEL：03-5226-3513（課代表）

JICA 海外協力隊の派遣前訓練

[JICA 海外協力隊事業](#)は日本政府の ODA 予算により、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。開発途上国からの要請（ニーズ）に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣します。

その主な目的は、以下の3つです。

- （1）開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与
- （2）異文化社会における相互理解の深化と共生
- （3）活動経験の社会還元

なかでも、青年海外協力隊は事業発足から 50 年以上という長い歴史を持ち、これまでにのべ 4 万人を超える方々が参加しています。

企業と連携してグローバル人材の育成に貢献するプログラム「JICA 海外協力隊（民間連携）」を設けています。

- ・ [JICA 海外協力隊（民間連携）](#)
- ・ [民間連携派遣の事例紹介](#)

この「JICA 海外協力隊（民間連携）」での派遣の場合も含め、JICA 海外協力隊は選考に合格した後、70 日間程度の派遣前訓練を受けます。訓練は JICA の訓練所等（長野県駒ヶ根市、福島県二本松市）で合宿形式で実施され、ここで JICA 海外協力隊として現地での活動を遂行できる語学力や生活に必要な知識を習得します。訓練では、健康管理と環境への適応力向上、そして特にコミュニケーション手段としての語学力強化に重点が置かれ、日本の国際協力や JICA 海外協力隊事業についての知識、赴任する国の事情や語学の習得、保健衛生、安全管理などについての講義やワークショップ、実習等を通じて各自の適応力を磨きます。

